

鋸

沿革

山林用の鋸である土佐鋸は、木材集散地であった片地(土佐山田町)を中心にして生まれ、発展してきました。この地で鋸を造る技術が導入されたのは文化年間といわれており、鋸には片地の片の字をとり銘に入れています。

木を切り倒したり、木製品の加工に使用する道具です。
両刃鋸、山林用鋸、剪定用鋸、等があります。

